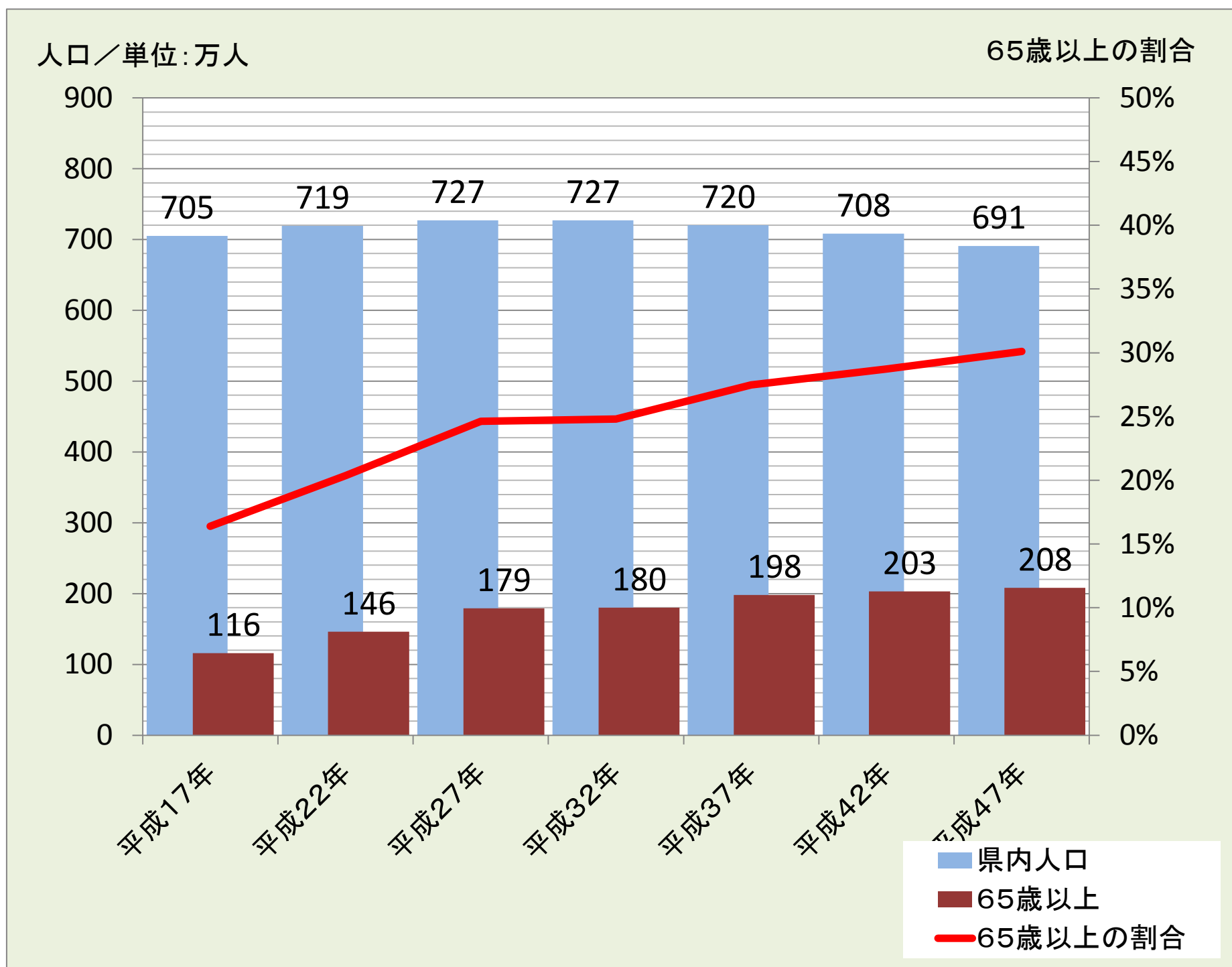


県内人口と高齢者人口の推移

年	県内人口A	H27 との比較	65歳以上の 人口B	B/A
2005年 平成17年	7,054,243		1,157,006	16.4%
2010年 平成22年	7,194,556		1,464,860	20.4%
2015年 平成27年	7,266,534	-	1,788,735	24.6%
2020年 平成32年	7,272,830	0.1%	1,804,346	24.8%
2025年 平成37年	7,202,953	-0.9%	1,979,972	27.5%
2030年 平成42年	7,076,167	-2.6%	2,033,539	28.7%
2035年 平成47年	6,909,319	-4.9%	2,079,748	30.1%

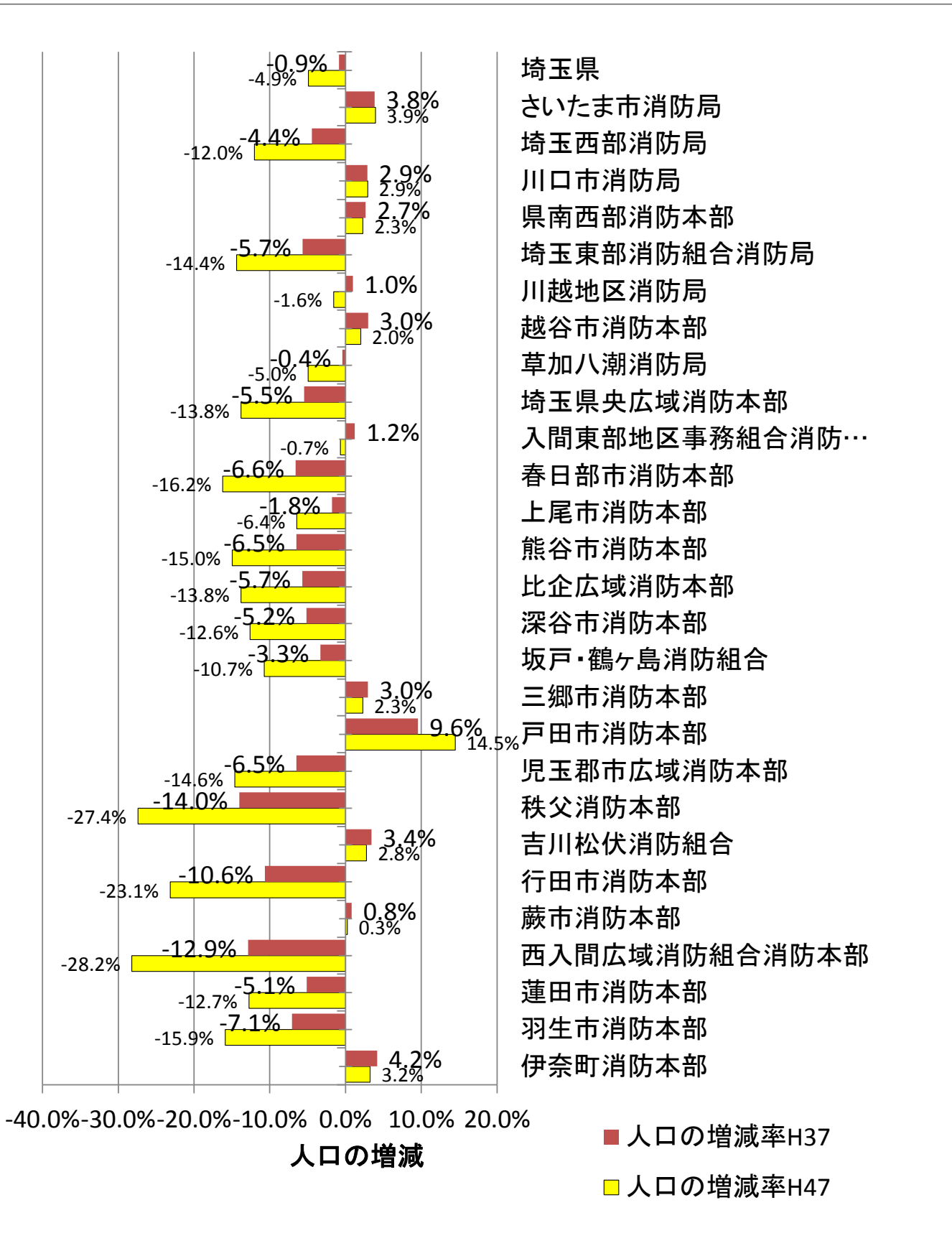
※データの出典は、国立社会保障・人口問題研究所の「日本の地域別将来推計人口・平成30年版」



- ・ 県内人口は平成32年の727万人をピークに、急激に下がることが見込まれ、平成47年には700万人を下回り、平成27年の4.9%減になる。
- ・ 65歳以上の人口は増加が続き、県内の高齢者の割合は30%を超える。

消防別の管内別人口の増減

平成27年の人口を1として、10年後(平成37年)、20年後(平成47年)の管内別人口の増減率を試算した。国立社会保障・人口問題研究所の「日本の地域別将来推計人口・平成30年版」を基に算出した。



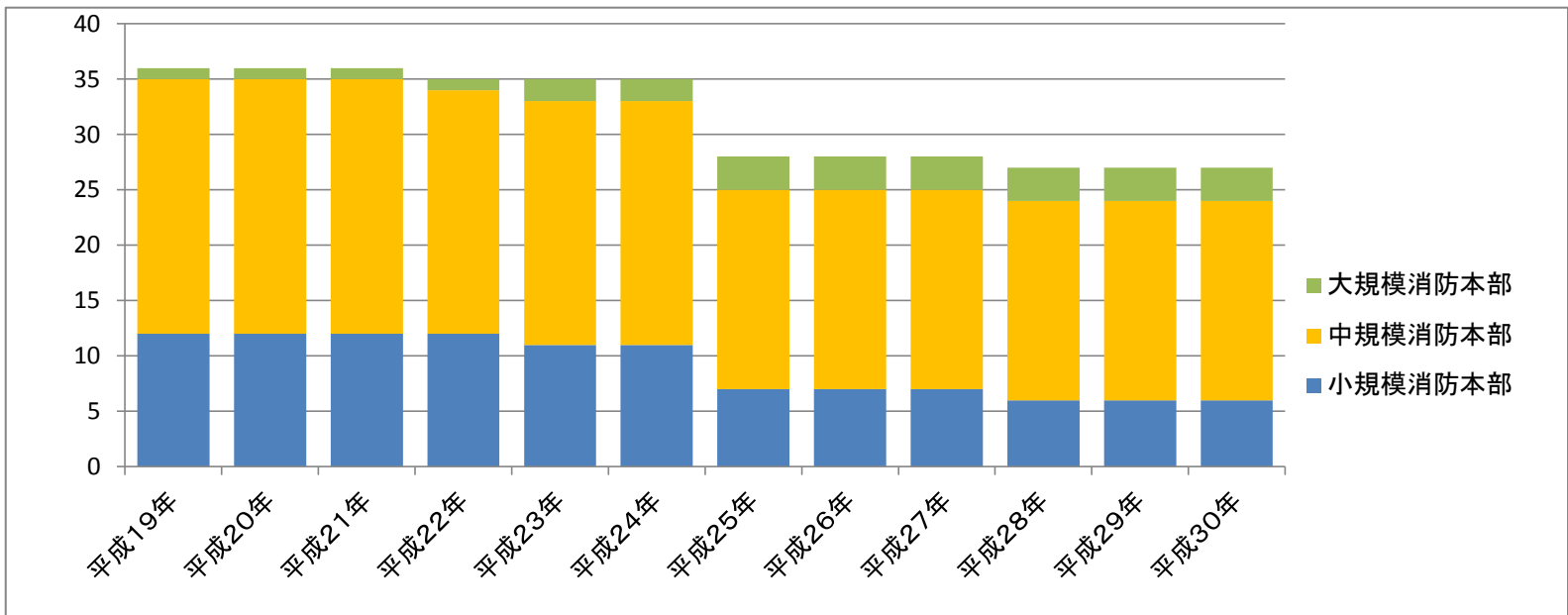
- ・埼玉県全体では、10年後の平成37年には人口が約1%減少すると見込まれる。
- ・約2/3の消防本部において、平成37年時点で人口減少が見込まれる。
- ・管内人口の減少率が10%を超える消防本部が2本部ある。

県内消防本部の管内人口・面積・消防職員数

	消防本部	面積	管内人口		署・出張所数		消防吏員数		消防吏員平均年齢		管内人口 ／ 消防吏員数	
			H27	H17	H27	H17	H27	H17	H27	H17	H27	H17
1	さいたま市	217.4	1,263,979	1,176,314	25	25	1,337	1,240	40.3	39.0	945	949
2	熊谷市	159.8	198,742	204,675	6	7	244	242	38.7	40.2	815	846
3	川口市	61.95	578,112	538,434	13	13	536	541	36.3	43.4	1,079	995
4	行田市	67.5	82,113	88,815	4	4	103	93	39.0	40.8	797	955
5	春日部市	66.0	232,709	238,506	8	8	280	278	41.3	43.0	831	858
6	羽生市	58.6	54,874	56,693	2	2	79	74	36.8	40.1	695	766
7	深谷市	202.6	177,892	183,522	8	8	226	221	36.6	39.9	787	830
8	上尾市	45.5	225,196	220,232	6	6	260	258	40.1	39.5	866	854
9	越谷市	60.2	337,498	315,792	6	6	326	292	39.1	41.1	1,035	1,081
10	蕨市	5.1	72,260	70,010	2	2	83	85	34.5	41.4	871	824
11	戸田市	18.2	136,150	116,696	3	3	139	134	37.3	40.7	979	871
12	三郷市	30.2	136,521	128,278	3	3	165	148	40.3	41.4	827	867
13	蓮田市	27.3	62,380	63,474	2	2	87	81	37.8	42.0	717	784
14	伊奈町	14.8	44,442	36,535	1	1	55	49	44.0	38.6	808	746
15	埼玉県南西部	61.2	451,923	421,834	8	8	423	420	37.2	39.5	1,068	1,004
16	秩父	892.6	101,648	114,596	5	8	169	164	35.7	39.8	601	699
17	入間東部地区	49.7	257,528	243,758	5	6	280	270	37.7	39.7	920	903
18	吉川松伏	47.9	99,799	91,141	3	3	148	146	33.7	39.6	674	624
19	児玉郡市広域	199.7	133,383	139,837	7	7	204	194	34.8	44.2	654	721
20	坂戸・鶴ヶ島	58.7	171,934	168,747	4	4	191	190	38.6	40.9	900	888
21	比企広域	316.9	193,206	200,899	9	9	266	257	35.8	41.1	726	782
22	川越地区	150.8	371,533	356,701	8	8	439	427	38.6	37.7	846	835
23	埼玉県央広域	112.6	259,417	263,397	9	9	334	317	39.1	40.1	777	831
24	西入間広域	100.2	63,329	68,463	3	3	111	104	39.1	42.2	571	658
25	埼玉西部	406.3	778,416	781,229	19	19	868	854	40.4	40.5	897	915
26	埼玉東部	320.5	447,799	453,842	18	18	639	613	40.4	42.2	701	740
27	草加八潮	45.5	333,751	311,823	6	6	326	308	37.0	40.9	1,024	1,012
	計	3797.8	7,266,534	7,054,243	193	198	8,318	8,000	38.7	40.6	874	882
	H27とH17の比較		+3.0%		△5		+4.7%		△1.9		△2.2%	

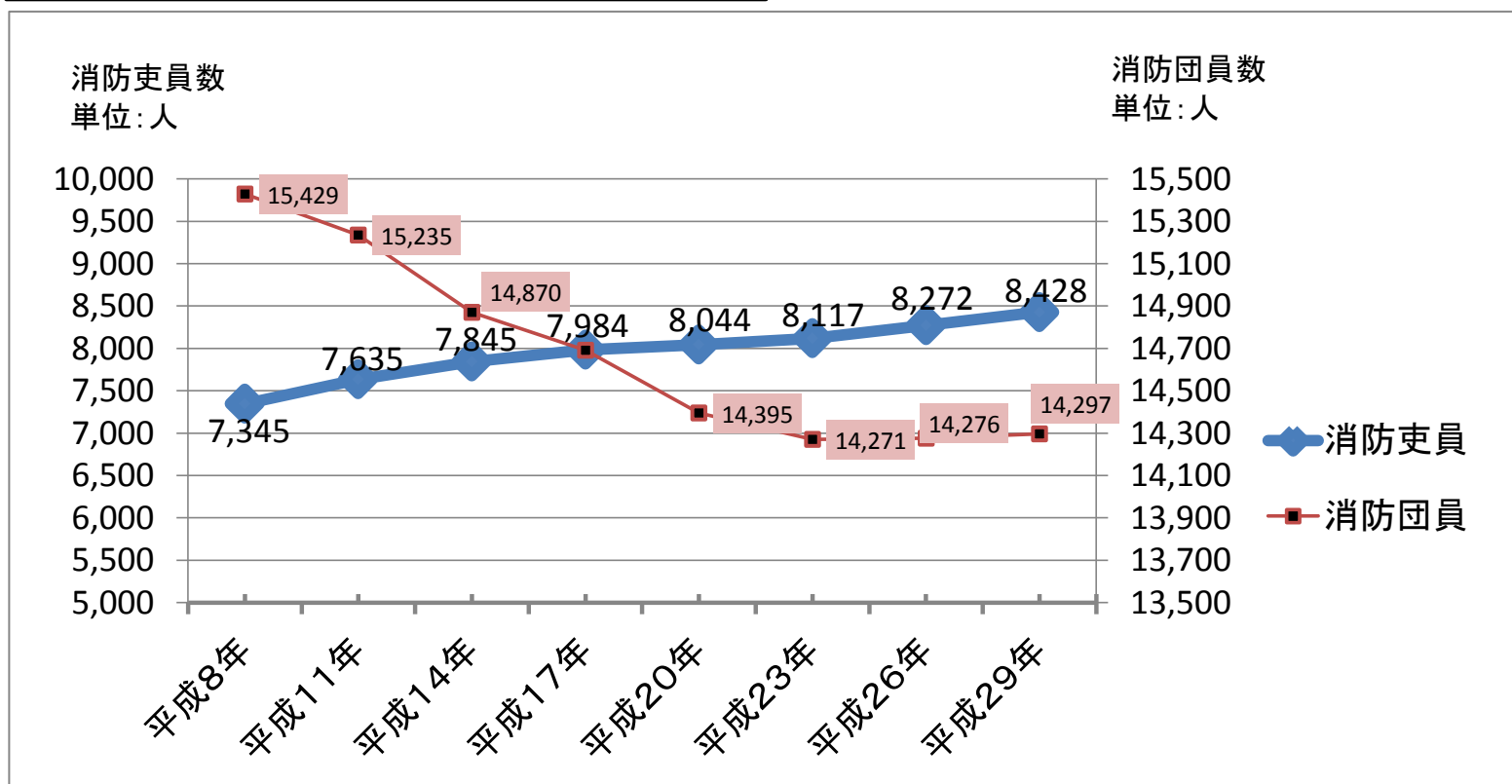
※管内人口は、国立社会保障・人口問題研究所の「日本の地域別将来推計人口・平成30年版」を基に算出した。他のデータの出典は、「平成28年埼玉県消防年報」。

県内消防本部数の推移



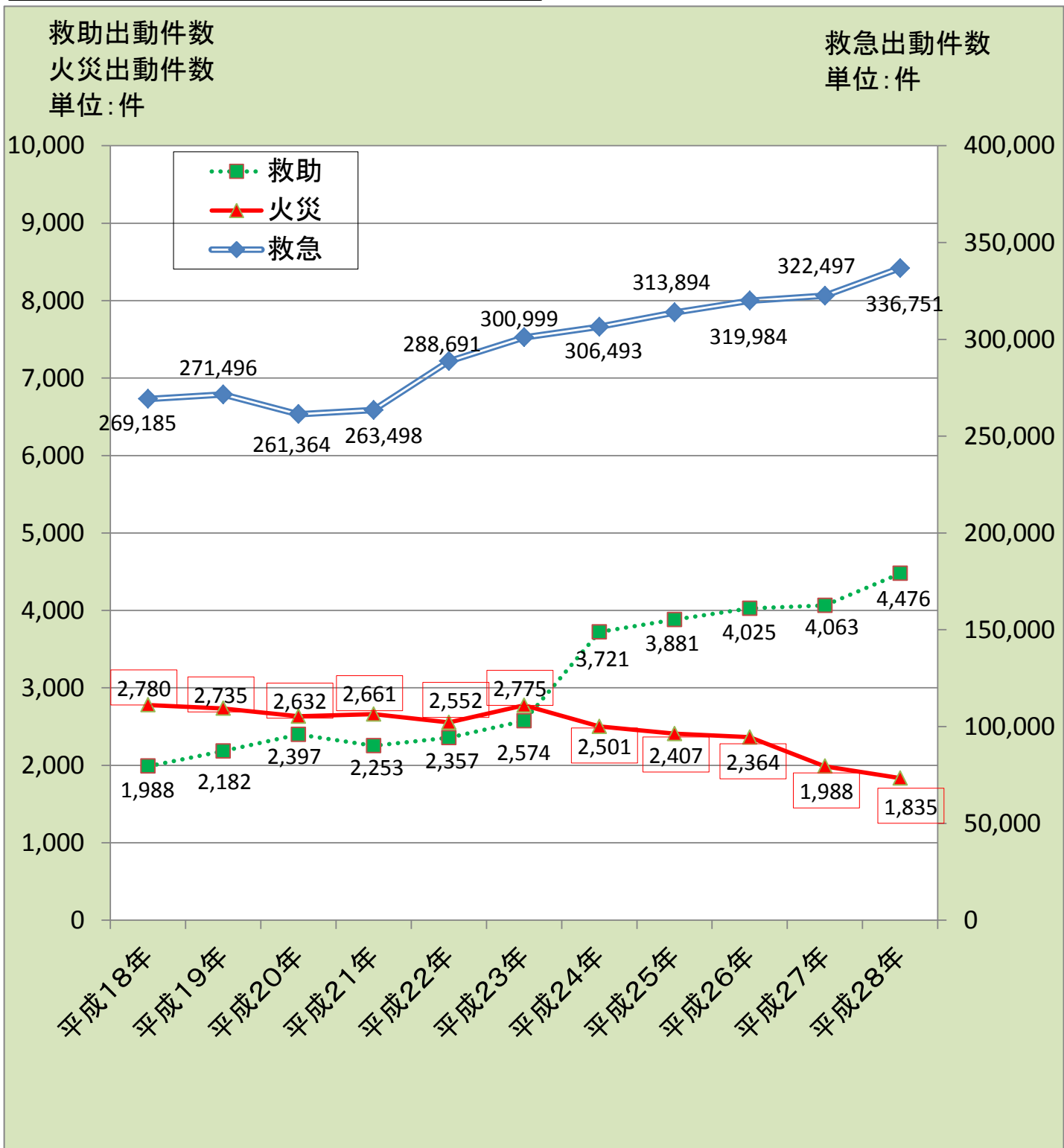
- ・ 県内の消防本部は、消防広域化推進計画策定時には、36消防本部だったが、平成30年4月1日現在27本部である。
- ・ 管内人口が10万人未満の小規模消防本部は12本部あったが、消防広域化により6本部となった。
- ・ 管内人口10万人未満を小規模消防本部、10万人から50万人を中規模消防本部、50万人超を大規模消防本部とした。
- ・ 県内の管内人口50万人超の消防本部は、さいたま市消防局、埼玉西部消防局、川口市消防局の3本部である。

消防吏員数・消防団員数の推移



- ・ 県内の消防吏員数は、増加傾向である。
- ・ 一方で、消防団員数は、長期的に減少傾向が続いたが、最近では下げ止まっている。

出動件数の推移



- ・ 火災出動は、長期的に減少傾向である。
- ・ 救急出動、救助出動は、増加している。
- ・ 高齢になるほど、救急搬送者が増える傾向にある。高齢化に進行により、さらに救急出動の増加が見込まれる。